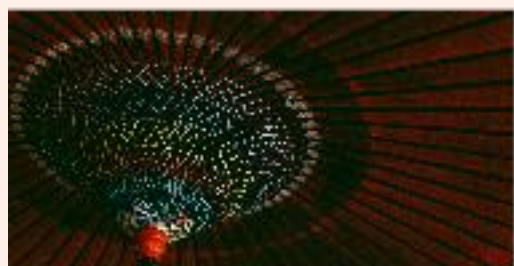


第3回

日本文化研究所研究会



発表者：

木村悠之介（日本文化研究所研究補助員）

発表題目：

「水戸学の神道論における「固有」——儒教
と身体性への視座をめぐる藤田東湖の位置」

2021年7月15日(木)

18:30～20:30

Zoomを用いたオンライン開催

発表要旨：

会沢正志斎とともに後期水戸学を代表する思想家・藤田東湖は、それまでの儒教的な普遍性を離れ、日本特殊論としての「固有」を説く国学に傾斜したと考えられてきた。しかしながら、そもそもこの「固有」という漢語は、必ずしも特殊論を含意するものではない。本報告では、東湖の神道論に頻出する「固有」の主張が何を目指していたのか、経書解釈も踏まえながら追いなおし、弘道館の祭神観や『弘道館記』の制定過程をはじめとする他の水戸学者・国学者の思想とも比較することで、国学への傾斜というこれまでの理解を再考したい。

参加希望の方は、7月13日（火）までに以下のフォームから申し込みをお願いします。

締切後、ご回答頂いたメールアドレスに、研究会のZoomセッションへのリンクをお送りします。

<https://forms.gle/neS37FqXGWVhKTed9>

主催：國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所

